



12万冊もの漫画本が眠る、夢とロマンが溢れる川上町に行ってみよう！

吉備川上ふれあい漫画美術館は、明るく楽しい地域づくり、夢とロマンあふれる町を目指して平成6年4月29日に開館しました。高梁市川上町では昭和63年から漫画でのまちづくりを行っており、「町民一人一冊運動」として町民の皆様から漫画本を寄贈していただきました。今までは全国から寄贈された漫画本がおよそ12万冊所蔵しており、新刊は年間700冊ほど入荷しています。貸本ブーム時代の「赤本」から最新コミックスまで、子どもから大人まで、幅広い年代に楽しんでいただける漫画本を自由に読むことができます。

◆ 施設のおすすめ

富永一郎漫画廊では、富永名誉館長から寄贈された約100点の原画のうち約50点を常設展示しています。この原画は永久に残るようにとの願いから、ひとつひとつ色鉛筆で描かれました。ほかにも、人気漫画家のイラスト色紙や、1～2コマの漫画コンテスト「吉備川上漫画グランプリ」入賞作品などを展示しています。また、漫画家の原画展やサイン会、トークショーといったイベントも開催しています。また、枕や座布団を持ち込んでリラックスしながら漫画を読むことができる「ごろごろ読書室」もおススメです！

◆ 子どもたちへのメッセージ

当館には、本屋や図書館では普段見たり買ったりすることができないめずらしい本がたくさんあります。自分の好きな本だけでなく気になる本を見つけたら是非読んでみてください。

面白い本、感動する本、みなさんのお父さんお母さんが子どものころに読んだことのある本など、いろんな本との思いがけない出会いがあるかもしれません。



施設の外観



人気漫画家たちのイラスト色紙



ごろごろ読書室



寄贈された作品を展示